

国際ペットワールド専門学校  
学校自己評価報告書  
(2023年度)

## 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(2) 2023年度

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
  - ・ 業界のプロを講師として招聘した、授業を行っている
  - ・ 動物系学科では全学科で、「動物看護・美容・しつけ・動物福祉」の4分野が総合的に学べるカリキュラムとなっている。
  - ・ 専門知識・技術の習得だけでなく、人間力の強化、社会人基礎力の強化にも力を入れている。「Word」「Excel」「社会人常識マナー」「コミュニケーション」などビジネス系検定の取得にも力をいれている。
  - ・ 国際的な視野を養うため、海外講師による特別授業、海外研修をおこなっている。(2023年度より対面で実施した。)
  - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
  - ・ 職業力を高めるための、企業等と連携したインターンシップ等の職業実践型授業を行っている。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に学生証アプリで「学生の手引き」を配信し、新入生オリエンテーションで周知している。また、保護者には簡易版資料を配布し、周知を図っている。

(3) 自校採点

学校の理念等についてどの程度理解しているかを毎年、在校生と、在校生の保護者に対してアンケート調査を実施している。このうち、「理解している」と、「ほぼ理解している」が保護者で73%、在校生97%であり、大多数の方が理解を示されており、問題は無いと考える。入学前と入学後のさらなる訴求が必要である。

## 学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 2023 度

- 毎年の運営方針は、学校の教育理念、教育方針に基づいて決定し、年度初めの職員会で教職員に周知されている。
- 学校の運営についての諸規定は明確化されており、有効に機能し、かつ法令等の改正や通達等に合わせ見直しを行っている。
- 法人全体の運営体制は、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、法人全体に関わる重要事項は、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内の運営体制は、運営組織は組織図、校務分掌において明確化している。重要事項の協議、周知、意志統一を図りながら、円滑な運営を行っている。
- 人事、給与については、法人の就業規則並びに諸規定（人事考課、昇給・昇格制度、給与規程）によって規定されており、よりよい人材の確保と育成を図るため就業規則並びに諸規定の整備、見直しに努めている。2023 年度より勤怠管理システムを導入。
- 教育活動等の公開は当校ホームページ及びブログ、各種 SNS 等により情報公開に努めている。
- 情報システムは、MyiD（学籍管理システムより移行）、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により業務の効率化がはかられている。
- 産学協同の一つとして新潟市の獣医師と連携し、学内で動物夜間急患センターを運営している。新潟市唯一の動物夜間病院となり、年中無休で診療している。

(3) 自校採点

業務の効率化を図るため勤怠管理システムや学生の学業管理システムが導入されたが使い方に慣れず負担が大きくなった。2024 年度は使い方に慣れ、業務の効率化が図れるようにしていきたい。

## 教育活動

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3

(2) 2023 年度

- 教育課程は教育理念、教育目標を踏まえて策定されており、学科教育目標に沿って編成されている。
- 実践的な職業教育として企業と連携した業界見学、インターンシップ等が行われている。
- 授業評価は年2回の「学生授業評価アンケート」を実施している。結果は各科目担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得は試験前に集中対策授業や補講を行い合格率向上に努めている。
- 教員の資質向上のため、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発は法人全体で各種研修を実施している（教員フォローアップ研修等）。2023年度も引き続きオンラインで実施となるものも多かったが、移動などに時間をとられることもなくオンライン研修はメリットとしてとらえている。

(3) 自校採点

教員の能力開発として、最新技術の習得や、新しい情報の導入を積極的に行う必要がある。

## 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 2023年度

- 就職相談室を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、若者仕事館、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。また、初めて学内で合同企業説明会を2月に実施し、二日間でのべ22社が参加をした。
- キャリア教育として、業界関係者、卒業生等による講演を実施できた。
- 資格取得は、補講及び対策授業等を行い、合格率の向上を図った。愛玩動物看護師 90.2%合格、ペット栄養管理士 97.3%合格、愛玩動物飼養管理士 2級 91%合格、観賞魚飼育管理士 100%合格、潜水士 100%合格、マナーハンドラーテスト 87.5%合格、サロントリマー検定 1級 94.1%合格の実績となった。
- 退学抑止については、全教職員で声掛け、見守りを行う体制を構築している。カウンセラーによる対面カウンセリングや SNS 学生相談室を学生へ周知し利用を促進することで、退学率の低減に努めている。
- 卒業生による「校友会」が組織されており、校友会 HP と LINE を通じた双方向の情報交換もなされている。卒業生の動向は、校友会との連携や企業訪問により把握に努めている。
- 学園祭の中で「校友会」主催の現役トリマーセミナーを実施した。2025年度の25周年に向けて卒業生との情報交換会やフォローアップを実施したい。

(3) 自校採点

- 就職について、若年層の人口減少と業界の人手不足もあり、順調に推移している。学内で合同企業説明会を実施し、学生のモチベーションアップにつながり、教員が企業との情報交換の場にもなった。
- 資格取得について、合格率が目標に届かなかった。日頃から目標をもって学習に取り組めるように、授業運営の改善が必要である。
- 退学抑止について、産業カウンセラーとのカウンセリングや SNS 相談室利用促進、休学者の復学フォローにより退学率を 2.8%に抑えることができた。
- 卒業生の社会的な活躍やキャリア形成の実態について、校友会と連携し、アンケートやヒアリングを定期的におこなえるよう体制の見直しを図る。

## 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(2) 2023 年度

- 進路・就職相談について、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による対面カウンセリング制度を整備、また SNS 学生相談室を設置し、学生相談に対する体制を整備している。また、クラス担任を設置しており、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、学生課に担当者を置き、教育ローンや奨学金利用の相談を受け付けている。
- 新潟リハビリテーション病院にて、健康診断を実施している。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のサークル活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 保護者会(新入生 4 月)、保護者面談(卒年次生 5 月、進級年次生 12 月と 3 月)を実施、MyID 保護者メールシステムの活用による情報共有等、保護者との連携を図っている。
- 卒業生に対しては卒業後の再就職相談にも応じている。
- 社会人向けに、県立テクノスクールの長期職業訓練生を、ペット美容学科で受け入れており、受講中である。社会人経験のある学生のニーズに現状の教育環境では沿うことが難しく感じてはいるが、社会人経験者のニーズも取り入れつつ教育環境の整備を行っている。

(3) 自校採点

特になし。

## 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 2023 年度

- 学生数の増加により、HR 教室が不足していること、実習室が狭くなっていること、が教員や学生の不満につながっている。
- 教育目標の達成のために、インターンシップ、海外研修を推奨しており、インターンシップ、海外研修ともに受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。2023 年度も海外研修は中止としたが、ロサンゼルス動物愛護センターやトリミングサロン、水族館の見学をオンラインで行った。
- 防火管理者が立案した計画に基づき、毎年 4 月に避難訓練を実施している。

(3) 自校採点

在籍学生数が増え、ホームルーム教室が不足し、5 教室を外部に設置した。

外部に設置した教室と同階の企業により騒音によるクレームが多々あり、早急な対応が必要となっている。

消防ポンプの入れ替え、防火扉の修繕を行った。

## 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 2023 年度

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。学校説明会を毎月開催(月 1~3 回)し、学科説明、授業体験、保護者説明会を実施。入試方法、学費や奨学金制度の紹介等も実施して当校への理解を深めてもらっている。入学相談スタッフが積極的に高校訪問やホテル等で実施される進路ガイダンスに参加している。
- 教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。また学校説明会参加者には随時最新情報の資料を配布、開示している。
- テキスト、教材の追加購入や変更、検定等の再受験で過不足が出た場合は、年度末において適正に清算処理されている。

(3) 自校採点

学校説明会については、コロナ禍に引き続きオンラインでの学校説明会も同時に行っている。オンラインでも、十分な理解ができるように、随時内容の更新を行なっている。



## 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 2023 年度

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 自校採点

現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18 歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行う。

## 法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

(2) 2023 年度

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。専任教職員は入社時に「コンプライアンス検定」の受験を必須とし、知識の習得に努めている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 毎年教職員へのアンケート、自校に対する評価を実施。問題点については順次改善に取り組んでいる学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書を当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

(3) 自校採点

特になし。

## 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

(2) 2023年度

- 小学校～高校の総合学習の受け入れ、アクアリウム系学科学生が運営する水族館を開催（年1回）し、地域の方々を学校へ受け入れる活動を行っている。
- 近隣の老人介護施設へ、動物を連れて訪問するAAA活動を、授業の一環として実施していたが、2023年度は訪問については実施できなかった。
- 会員制で一般の飼い主からモデル犬登録をしていただき、グルーミング実習、リハビリ実習、ドッグトレーニング実習に参加をしている。
- 地域スポーツ応援、ドッグスポーツイベント、動物愛護フェスティバル、にいがた総おどり、明和義人祭、献血等、積極的に参加した者は年度末に表彰をし、活動を推奨してる。
- 公開講座を開催もしくは後援し、動物の飼育やしつけ、動物福祉等に関して、地域の方へも学びの機会を提供していたが、2023年度は実施できなかった。
- 動物病院実習室を夜間に動物病院として活用し、県内唯一の動物夜間急患センターとして稼働している。

(3) 自校採点

特になし。